令和5年12月4日　第2175回例会
RI第2730地区
宮崎南ロータリークラブ
週報
世界に希望を生み出そう
ゴードン R. マッキナリー
2023-24年度RI会長

新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

12月の月間　疾病予防と治療月間

本日の例会プログラム　第2176回例会　令和5年12月11日
・出席委員会委員長卓話　　井野元孝洋　委員長
・会員卓話　　島田博良　会員

会長挨拶

井上竜志会長

みなさん、こんにちは。先週は宮崎空港ビルにての職場訪問でした。いつもより出席が良かったのでほっとしたところでした。企画して頂いた職業奉仕委員長大浦委員長どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

12月に入りまして、今年も残り1カ月を切りました。みなさんも12月は慌ただしく、忙しい毎日を送っているかと思います。12月は疾病予防と治療月間となっております。最近では、インフルエンザが流行っておりまして、先月に警報レベルまでなっております。まだ、今から寒くなり、空気も乾燥してきますので、さらに注意予防が必要だと思います。マスク手洗いうがいを励行されるとよいと思います。

スーパーとか行きますと、すでにクリスマスソングが流れ始めています。年末の行事の準備を掻き立てるように、セールや特売というようなチラシやポスターも見かけるようになりまして、3割引きとか5割引とかいう文字に弱くて、ついつい手に取ったりしています。特にお肉の日とかは通常の単価より2～3割増した単価の3割引きになると通常と同じ値段になっていたりするのではないかと思ったりもします。

また、ブラックフライデーというのもありまして、年末になると出費が重なるのに、さらに追い打ちをかけるように年末セールの前に、お金を使ってもらおうと、いうようなことでブラックフライデーをつくったようなもので、そのセールの商品で余ったものが福袋の中に入っていたり、外側の紙袋だけ黒色から赤色になっただけではないかというようなものもあるかもしれません。年始には少し辛抱しないといけないので、年末に、別に今買わなくても良かったのですが、買ってしまった食品や多めに買った三段おせちや、せっかく頂いたお歳暮など、そして、災害の時のために備蓄していた賞味期限ぎりぎりのものを食べたりして1カ月しのぐことになります。みなさんはそういいたことはないでしょうが、わたしは、毎年そんなお正月になってしまっています。

そこで、なにかと出費の多い年末ですので、18日に開催されます家族懇親会では、家族をもっと楽しく盛り上げようという企画を予定しております。どうぞよろしくお願い致します。

家族を連れて、家族のいない方も参加をお願い致します。楽しく盛りあげていきましょう。

最後に、マイロータリーのアカウント登録をお願いします。メールアドレスとパスワードが必要です。100パーセント登録を目指していますので、ご協力お願いします。入力前には事務局にご連絡ください。よろしくお願いします。

今日もよろしくお願いします。

出席委員会報告

田代孝尚会員

●出席状況

本日状況	
会員数	(53)54名
本日欠席者数	20名
本日出席者数	34名
出席率	64.15%

前々回修正出席状況	
メークアップ数	0名
修正出席率	74.07%
メークアップされた方(敬称略)	

ニコニコBOX		
	0件	0円
	累計	49,000円

募金箱	
	5,690円
累計	96,392円

幹事報告

村野　裕幹事

・12月の国際ロータリー為替レート
　1ドル＝147円
・鹿児島ロータリークラブ様より創立70周年記念誌が届いております。
　閲覧希望の方は事務局へお声掛けください。

親睦委員会

長澤好太郎委員長

12月18日(月)は年末家族懇親会です。シーガイアコンベンションセンター18：30～より行いますので多くの参加をお願いします。

●結婚月

日高章智会員、開地俊昭会員、長澤好太郎会員
田中靖彦会員

●誕生月

森　英典会員、高瀬俊彦会員、蛯原　学会員
平賀義浩会員、吉野恒男会員

●米山奨学金授与式

ロセリン イアオ メイ チンさん

会員増強分類選考委員会　　**池田靖洋委員長**

本日ボックスに新会員推薦通知を入れております。異議がある場合は７日以内に書面にてご通知ください。

米山奨学委員長卓話

川村雅宣委員長

日本には短歌・俳句・川柳と色々ありますが、制約が少ないのが川柳です。

人の悪口や弱い人をからかったりはダメです。ダジャレも使わないのが普通です。

サラリーマン川柳はよく耳にすると思います。人間模様や社会に対する風刺など日常にある様々な場面が詠まれています。いくつか面白いものを探してみました。

ＩＴ化　課長の面倒　誰がみる
効率化　進めて気づく　俺が無駄
業績は　パートで決まる　この社会
共働き　妻の転勤　気にかかる
ぼくに出す　メールの打ち方　聞く上司
年金は　いらない人が　制度決め
英会話　何年たっても　入門編
狭き門　大学よりも　勤め先
定年後　犬も嫌がる　５度目の散歩
スポーツジム　車で行って　チャリをこぐ

いかがですか？　ＩＴ化についていけない私にとって苦笑いしてしまう川柳が印象的です。

「ロータリーの２大標語を考える」

ロータリー情報委員会　　**大迫三郎副委員長**

「超我の奉仕」　＝ 第１標語
「最もよく奉仕するものは
　最も多く報いられる」＝第２標語
には深い意味を感じます。

単的には物理的な側面と精神的な側面に捉えられ、経済学者として生産性を主体とするシェルドンが唱えた第２標語は生産的側面から物理的な量を例えられるものかも知れません。

しかし人間性、人格を学び合うロータリアンとして量的、物理的な側面と云うより「より良い奉仕」は「より大きな自己への心の豊かさ」を与えてくれ、自己の寛容へと導くものでありその大きさが心の支え、自己の幸せの大きさになり人格の形成に高まると云う解釈で良いのではないでしょうか。

第１標語の「超我の奉仕」とて超我と云う計り知れない哲学の中で、物的、精神的な側面の在り方を問われるとやはり精神的な側面としての我を忘れて相手の為、社会の為に尽くす行動の精神的な奉仕の心の依り所によるロータリアンとしての人格、人間性形成を導く心のありようを悟すものだと思います。